

第5章

市政モニターアンケート

平成28年度
第6回市政モニターアンケート

障害福祉施策について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
【1. 障害のある方への理解や関心について】	
(1) 障害のある方との交流経験の有無	2
(2) 障害のある方との交流の具体的な内容	3
(3) 障害のある方と交流した経験がない理由	5
(4) 障害者福祉への関心の程度	6
(5) 障害者福祉に「関心がある」理由	7
(6) 障害のある方に対する差別・偏見を感じるか	8
(7) 障害のある方に対する差別・偏見を「感じることもある」理由	9
【2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について】	
(8) 障害者の雇用・就業機会の確保と拡大について	10
(9) 障害者就労施設等の物品等に対する需要の拡大等について	12
(10) 発達障害のある人に対する理解について	14
(11) 障害者差別解消法の周知について	16
(12) 障害のある人の人権の尊重について	17
【3. 共生社会を実現するために必要な取り組みについて】	
(13) あなた自身が地域の一員としてできるとおもうことについて	18
(14) 共生社会を実現するために今後さらに力を入れるべき取り組みについて	20
(15) 北九州市の障害福祉施策についての意見	23
IV 全体考察	24

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	149人
回答者数	133人	(回収率 89.3%)
調査実施日	平成28年10月	4日～平成28年10月20日
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	市民文化スポーツ局広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	保健福祉局障害福祉企画課	TEL 582-2453

II 市政モニターの構成

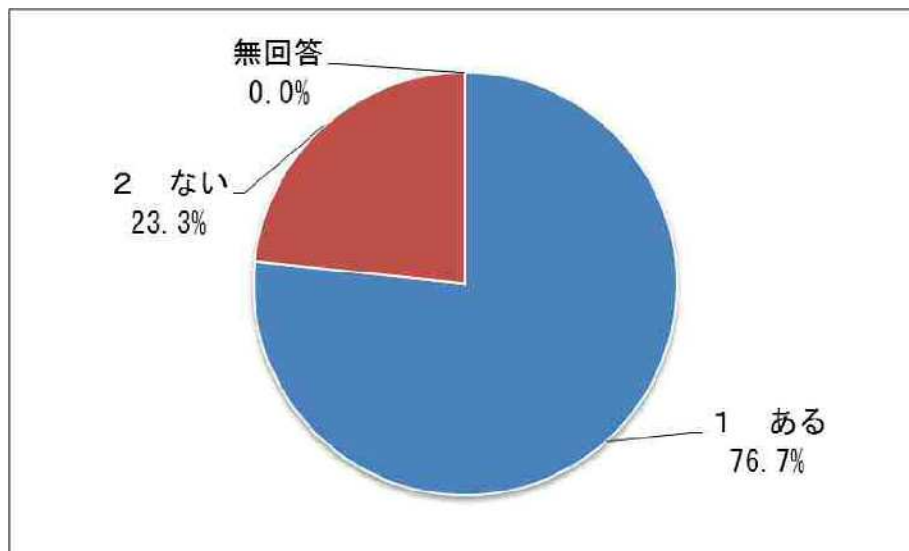
区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	149 (100.0%)	47 (31.5%)	102 (68.5%)	区 別			
				門司区	16 (10.7%)	5 (3.4%)	11 (7.4%)
20歳代	17 (11.4%)	2 (1.3%)	15 (10.1%)	小倉北区	26 (17.4%)	6 (4.0%)	20 (13.4%)
30歳代	23 (15.4%)	6 (4.0%)	17 (11.4%)	小倉南区	31 (20.8%)	11 (7.4%)	20 (13.4%)
40歳代	28 (18.8%)	5 (3.4%)	23 (15.4%)	若松区	16 (10.7%)	12 (8.1%)	4 (2.7%)
50歳代	20 (13.4%)	7 (4.7%)	13 (8.7%)	八幡東区	12 (8.1%)	2 (1.3%)	10 (6.7%)
60歳代	33 (22.1%)	12 (8.1%)	21 (14.1%)	八幡西区	39 (26.2%)	6 (4.0%)	33 (22.1%)
70歳以上	28 (18.8%)	15 (10.1%)	13 (8.7%)	戸畑区	9 (6.0%)	5 (3.4%)	4 (2.7%)

※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

1. 障害のある方への理解や関心について

問1 あなたは、今までに障害のある方に接したり、交流したりした経験がありますか

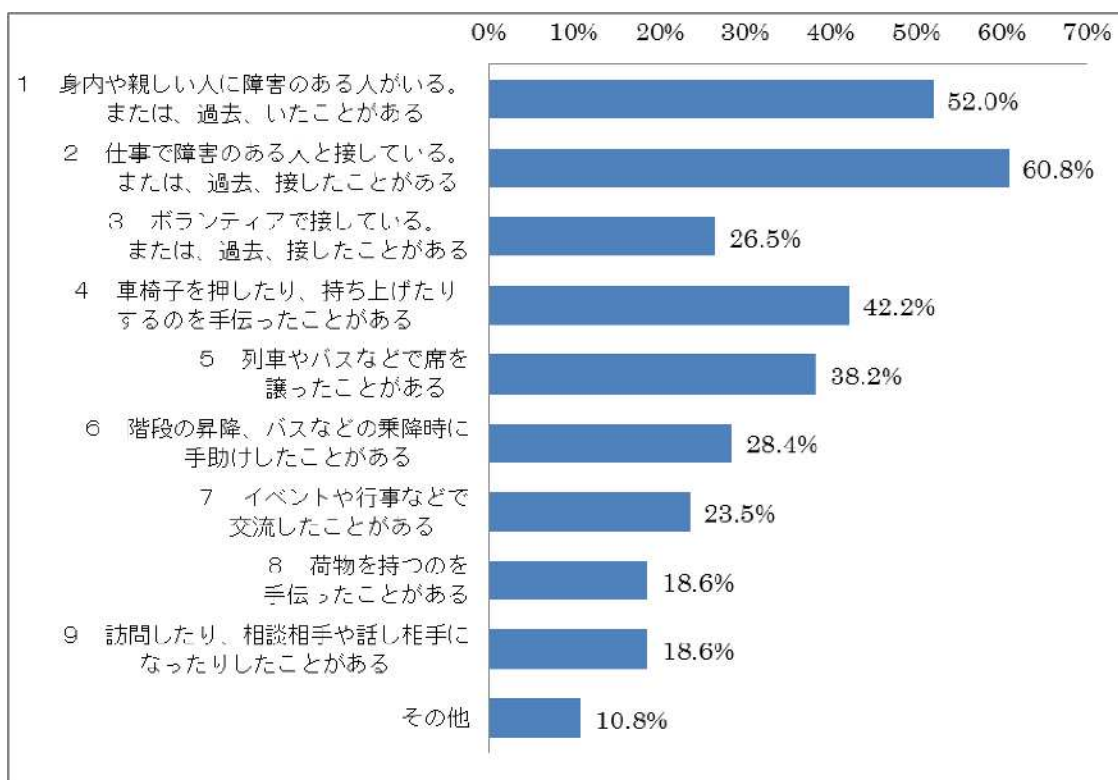


		回答者	1 ある	2 ない	無回答
全体		133 人	76.7%	23.3%	0.0%
性別	男性	46 人	78.3%	21.7%	0.0%
	女性	87 人	75.9%	24.1%	0.0%
年齢別	20 歳代	14 人	50.0%	50.0%	0.0%
	30 歳代	19 人	78.9%	21.1%	0.0%
	40 歳代	24 人	75.0%	25.0%	0.0%
	50 歳代	20 人	80.0%	20.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	89.7%	10.3%	0.0%
	70 歳以上	27 人	74.1%	25.9%	0.0%
区別	門司区	16 人	62.5%	37.5%	0.0%
	小倉北区	23 人	65.2%	34.8%	0.0%
	小倉南区	28 人	78.6%	21.4%	0.0%
	若松区	14 人	92.9%	7.1%	0.0%
	八幡東区	11 人	81.8%	18.2%	0.0%
	八幡西区	32 人	81.3%	18.8%	0.0%
	戸畑区	9 人	77.8%	22.2%	0.0%

障害のある方に接したり、交流したりした経験が「ある」は、76.7%であった。
年齢別に見ると、30歳代以上については、約7割以上、特に60歳代については、約9割が「ある」との回答であった。

問2 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それは具体的にどのようなことですか (〇はいくつでも)

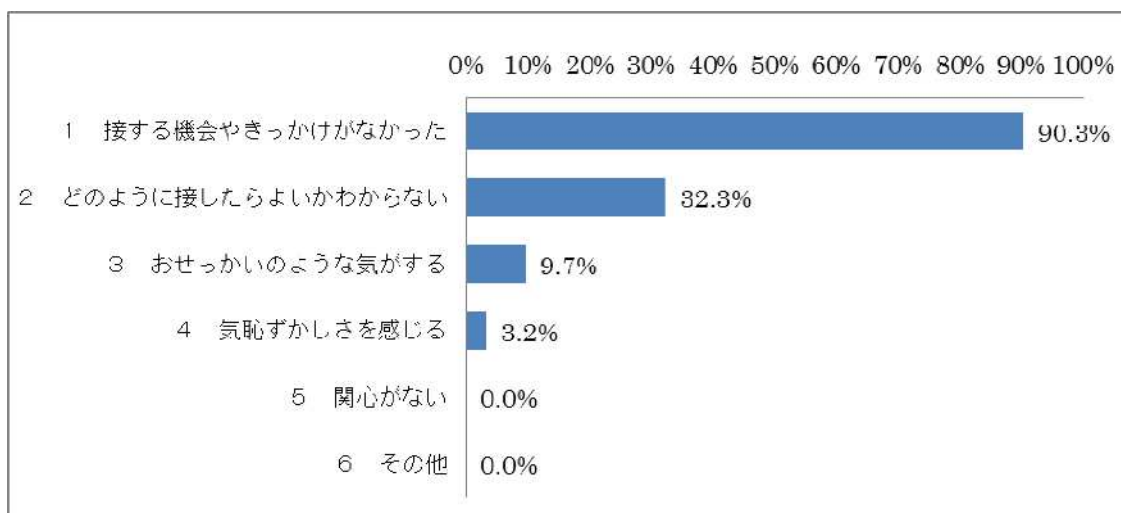


		回答者数	1 身内や親しい人に障害のある人がいる。または、過去、いたことがある	2 仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある	3 ボランティアで接している。または、過去、接したことがある	4 車椅子を押したり、持ち上げたりするのを手伝ったことがある	5 列車やバスなどで席を譲ったことがある	6 階段の昇降、バスなどの乗降時に手助けしたことがある	7 イベントや行事などで交流したことがある	8 荷物を持つのを手伝ったことがある	9 訪問したり、相談相手や話し相手になったりしたことがある	その他
全体		102人	52.0%	60.8%	26.5%	42.2%	38.2%	28.4%	23.5%	18.6%	18.6%	10.8%
性別	男性	36人	58.3%	75.0%	33.3%	50.0%	50.0%	30.6%	33.3%	22.2%	16.7%	5.6%
	女性	66人	48.5%	53.0%	22.7%	37.9%	31.8%	27.3%	18.2%	16.7%	19.7%	13.6%
年齢別	20歳代	7人	42.9%	42.9%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
	30歳代	15人	26.7%	66.7%	13.3%	26.7%	40.0%	20.0%	13.3%	0.0%	13.3%	6.7%
	40歳代	18人	27.8%	88.9%	22.2%	27.8%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%	11.1%	5.6%
	50歳代	16人	50.0%	56.3%	25.0%	37.5%	37.5%	31.3%	25.0%	25.0%	25.0%	6.3%
	60歳代	26人	73.1%	42.3%	30.8%	50.0%	34.6%	34.6%	23.1%	19.2%	19.2%	3.8%
	70歳以上	20人	70.0%	65.0%	45.0%	65.0%	70.0%	40.0%	45.0%	40.0%	30.0%	25.0%
区別	門司区	10人	60.0%	80.0%	20.0%	50.0%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	小倉北区	15人	26.7%	40.0%	20.0%	26.7%	33.3%	40.0%	26.7%	6.7%	13.3%	6.7%
	小倉南区	22人	45.5%	63.6%	22.7%	36.4%	27.3%	9.1%	18.2%	4.5%	13.6%	9.1%
	若松区	13人	69.2%	76.9%	38.5%	61.5%	46.2%	46.2%	30.8%	46.2%	23.1%	0.0%
	八幡東区	9人	33.3%	66.7%	33.3%	22.2%	44.4%	44.4%	0.0%	33.3%	33.3%	11.1%
	八幡西区	26人	61.5%	50.0%	34.6%	46.2%	50.0%	23.1%	38.5%	23.1%	26.9%	19.2%
	戸畑区	7人	71.4%	71.4%	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%

障害のある方に接したり、交流したりした経験の具体的な内容は、「仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある」(60.8%)の割合が最も高く、次いで「身内や親しい人に障害のある人がいる」(52.0%)の割合となった。そのほか、「車椅子を押したり持ち上げたりするのを手伝ったことがある」(42.2%)や「列車やバスなどで席を譲ったことがある」(38.2%)の順となっている。

問3 <問1で「2 ない」と答えた方におたずねします>

接した経験がない理由は何ですか (〇はいくつでも)

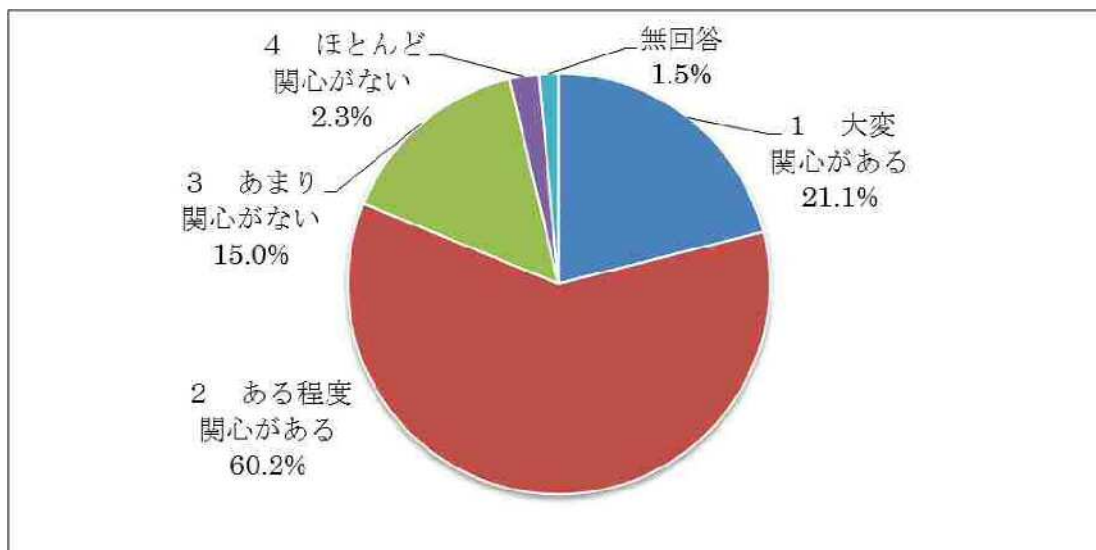


		回答者数	1 接する機会やきっかけがなかった	2 どのように接したらよいかわからない	3 おせっかいのような気がする	4 気恥ずかしさを感じる	5 関心がない	6 その他
全体		31人	90.3%	32.3%	9.7%	3.2%	0.0%	0.0%
性別	男性	10人	80.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	21人	95.2%	33.3%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	7人	85.7%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	6人	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	4人	75.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	3人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	7人	85.7%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	6人	83.3%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	小倉北区	8人	87.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	6人	83.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	1人	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	6人	100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

障害のある方に接したり、交流したりしたことがない理由として、多くの方が「接する機会やきっかけがなかった」と回答した。

なお、「関心がない」と回答した方は0.0%であった。

問4 あなたは、障害福祉に関心をお持ちですか（〇は1つだけ）



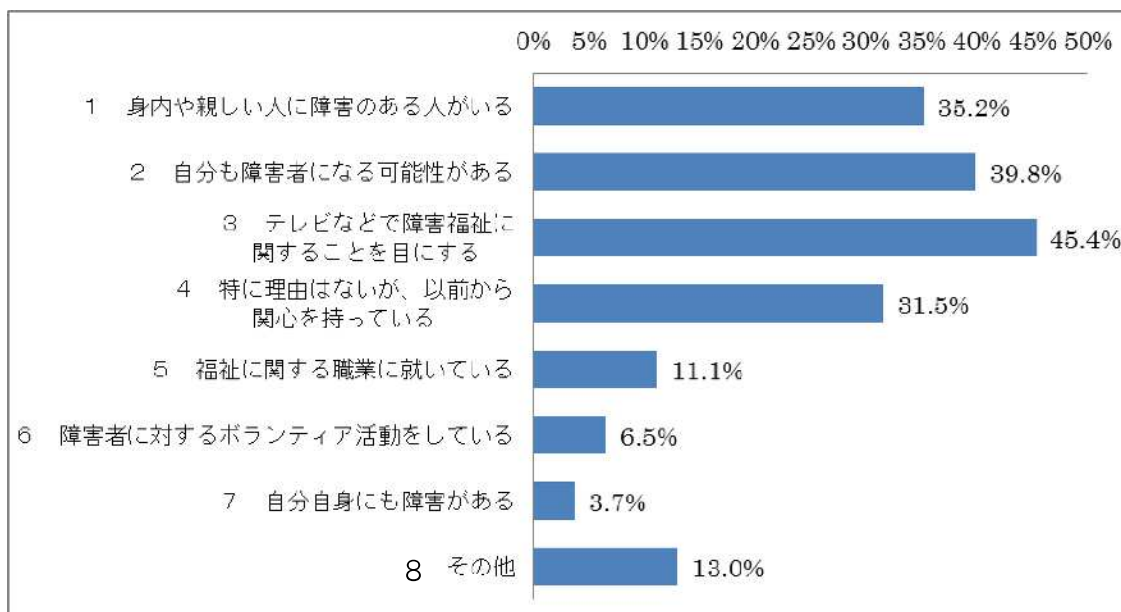
		回答者数	1 大変関心がある	2 ある程度関心がある	3 あまり関心がない	4 ほとんど関心がない	無回答
全体		133 人	21.1%	60.2%	15.0%	2.3%	1.5%
性別	男性	46 人	28.3%	56.5%	10.9%	2.2%	2.2%
	女性	87 人	17.2%	62.1%	17.2%	2.3%	1.1%
年齢別	20 歳代	14 人	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%	0.0%
	30 歳代	19 人	10.5%	57.9%	21.1%	10.5%	0.0%
	40 歳代	24 人	20.8%	50.0%	25.0%	4.2%	0.0%
	50 歳代	20 人	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	20.7%	72.4%	3.4%	0.0%	3.4%
	70 歳以上	27 人	37.0%	59.3%	0.0%	0.0%	3.7%
区別	門司区	16 人	0.0%	68.8%	25.0%	0.0%	6.3%
	小倉北区	23 人	17.4%	52.2%	26.1%	4.3%	0.0%
	小倉南区	28 人	25.0%	64.3%	7.1%	0.0%	3.6%
	若松区	14 人	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11 人	0.0%	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
	八幡西区	32 人	25.0%	59.4%	12.5%	3.1%	0.0%
	戸畑区	9 人	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%

「大変関心がある」(21.1%)、「ある程度関心がある」(60.2%)を合わせ81.3%が障害福祉に関心を持っているとの回答だった。

年齢別でみると、「大変関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた割合は、20歳代でちょうど50.0%に、30歳以上は、すべての世代で60%を超えており、特に50歳以上で、90%を超える非常に高い割合になった。

問5 <問4で「1 大変関心がある」または、「2 ある程度関心がある」と答えた方におたずねします>

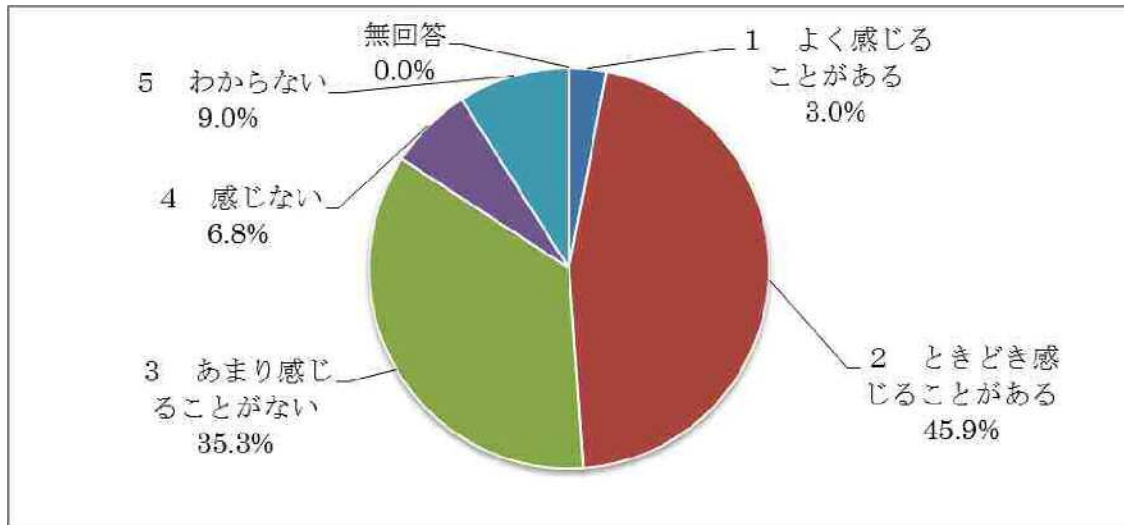
どのような理由から関心をお持ちですか（〇はいくつでも）



		回答者数	1 身内や親しい人に障害のある人がいる	2 自分も障害者になる可能性がある	3 テレビなどで障害福祉に関することを目にする	4 特に理由はないが、以前から関心を持っている	5 福祉に関する職業に就いている	6 障害者に対するボランティア活動をしている	7 自分自身にも障害がある	8 その他
全体		108 人	35.2%	39.8%	45.4%	31.5%	11.1%	6.5%	3.7%	13.0%
性別	男性	39 人	41.0%	51.3%	43.6%	30.8%	10.3%	10.3%	5.1%	5.1%
	女性	69 人	31.9%	33.3%	46.4%	31.9%	11.6%	4.3%	2.9%	17.4%
年齢別	20 歳代	7 人	28.6%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
	30 歳代	13 人	15.4%	53.8%	46.2%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%
	40 歳代	17 人	17.6%	52.9%	64.7%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	50 歳代	18 人	27.8%	55.6%	33.3%	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	11.1%
	60 歳代	27 人	51.9%	29.6%	29.6%	44.4%	7.4%	7.4%	11.1%	7.4%
	70 歳以上	26 人	46.2%	34.6%	57.7%	34.6%	3.8%	15.4%	3.8%	23.1%
区別	門司区	11 人	27.3%	63.6%	54.5%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	16 人	12.5%	37.5%	18.8%	37.5%	18.8%	6.3%	12.5%	6.3%
	小倉南区	25 人	36.0%	40.0%	48.0%	28.0%	16.0%	4.0%	0.0%	16.0%
	若松区	12 人	33.3%	41.7%	66.7%	41.7%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%
	八幡東区	9 人	44.4%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%
	八幡西区	27 人	40.7%	29.6%	55.6%	25.9%	7.4%	11.1%	0.0%	11.1%
	戸畑区	8 人	62.5%	62.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%

どのような理由から障害福祉に関心を持ったかについては、「テレビなどで障害福祉に関することを目にする」（45.4%）が最も高く、次いで、「自分も障害者になる可能性がある」（39.8%）、「身内や親しい人に障害のある人がいる」（35.2%）の順となっている。

問6 あなたは、日常生活や地域で障害のある方に対する差別・偏見などを感じることはありませんか（○は1つだけ）

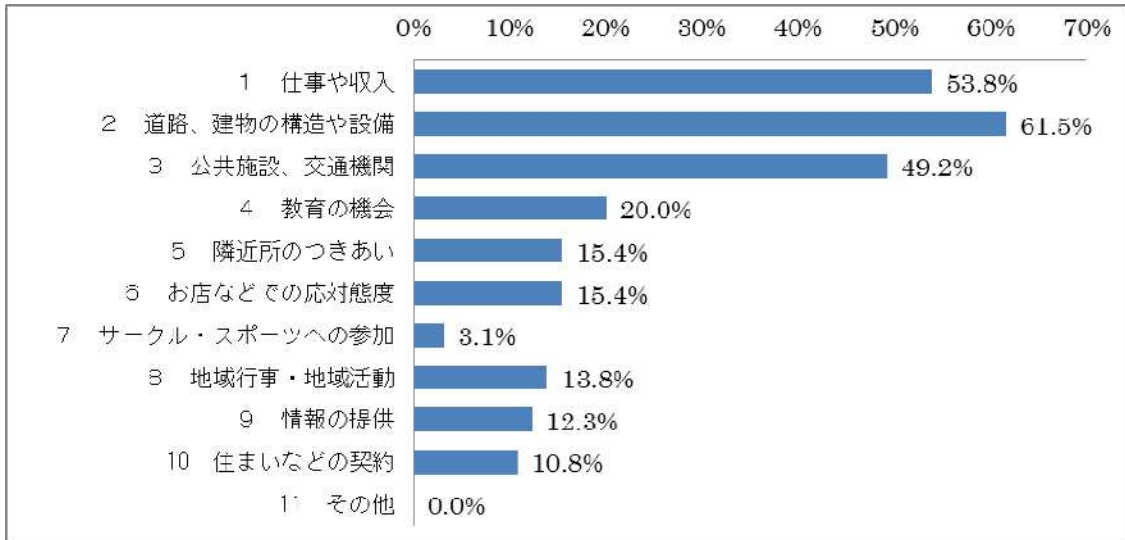


		回答者数	1 よく感じる	2 ときどき感じる	3 あまり感じない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		133人	3.0%	45.9%	35.3%	6.8%	9.0%	0.0%
性別	男性	46人	2.2%	52.2%	26.1%	13.0%	6.5%	0.0%
	女性	87人	3.4%	42.5%	40.2%	3.4%	10.3%	0.0%
年齢別	20歳代	14人	0.0%	28.6%	42.9%	7.1%	21.4%	0.0%
	30歳代	19人	0.0%	31.6%	42.1%	10.5%	15.8%	0.0%
	40歳代	24人	8.3%	58.3%	20.8%	0.0%	12.5%	0.0%
	50歳代	20人	0.0%	55.0%	30.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	60歳代	29人	6.9%	37.9%	48.3%	3.4%	3.4%	0.0%
	70歳以上	27人	0.0%	55.6%	29.6%	11.1%	3.7%	0.0%
区別	門司区	16人	6.3%	37.5%	37.5%	6.3%	12.5%	0.0%
	小倉北区	23人	8.7%	39.1%	39.1%	4.3%	8.7%	0.0%
	小倉南区	28人	0.0%	53.6%	28.6%	0.0%	17.9%	0.0%
	若松区	14人	0.0%	50.0%	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	0.0%	63.6%	27.3%	0.0%	9.1%	8.3%
	八幡西区	32人	0.0%	34.4%	53.1%	6.3%	6.3%	0.0%
	戸畑区	9人	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

日常生活や地域で障害のある方に対する差別・偏見などを「よく感じる」（3.0%）と「ときどき感じる」（45.9%）を合わせて、48.9%であり、障害のある方に対する差別・偏見などを感じる方が、全体の半数以下であった。

問7 <問6で「1 よく感じることもある」又は「2 ときどき感じることもある」と答えた方におたずねします>

どのようなところに最も強く障害のある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じますか（〇は特に感じるもの3つまで）



※ 設問の回答には補足説明あり

1 仕事や収入（職場環境や就労条件、賃金など）

9 情報の提供（災害時などを含む）

10 住まいなどの契約（アパートやマンションなどの賃貸契約など）

		回答者数	1 仕事や収入	2 道路、建物の構造や設備	3 公共施設、交通機関	4 教育の機会	5 隣近所のつきあい	6 お店などでの対応態度	7 サークル・スポーツへの参加	8 地域行事・地域活動	9 情報の提供	10 住まいなどの契約	11 その他
全体		65人	53.8%	61.5%	49.2%	20.0%	15.4%	15.4%	3.1%	13.8%	12.3%	10.8%	0.0%
性別	男性	25人	60.0%	68.0%	52.0%	12.0%	20.0%	12.0%	4.0%	24.0%	12.0%	16.0%	0.0%
	女性	40人	50.0%	57.5%	47.5%	25.0%	12.5%	17.5%	2.5%	7.5%	12.5%	7.5%	0.0%
年齢別	20歳代	4人	75.0%	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	6人	83.3%	66.7%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	40歳代	16人	25.0%	62.5%	43.8%	25.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	18.8%	12.5%	0.0%
	50歳代	11人	54.5%	63.6%	63.6%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%
	60歳代	13人	76.9%	76.9%	46.2%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%
	70歳以上	15人	46.7%	46.7%	26.7%	6.7%	13.3%	20.0%	6.7%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%
区別	門司区	7人	57.1%	57.1%	71.4%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%
	小倉北区	11人	54.5%	72.7%	36.4%	18.2%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%
	小倉南区	15人	53.3%	60.0%	60.0%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	13.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	若松区	7人	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%
	八幡東区	7人	42.9%	57.1%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	11人	54.5%	63.6%	36.4%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	18.2%	18.2%	18.2%	0.0%
	戸畑区	7人	57.1%	71.4%	71.4%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

最も強く障害のある方に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じている具体的な内容については、「道路、建物の構造や設備」（61.5%）、次に「仕事や収入」（53.8%）、「公共施設、交通機関」（49.2%）の順だった。

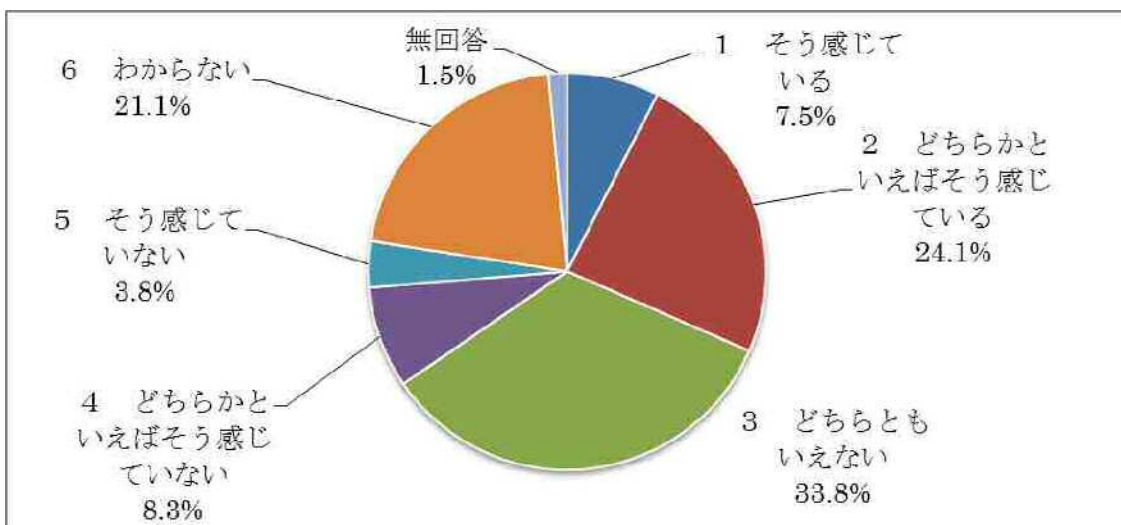
2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について

【障害者の雇用・就業機会の確保と拡大】

問8 北九州市では、働く意欲のある障害のある人の雇用を促進するため、障害者しごとサポートセンターを設置し、障害のある人への就労支援に取り組んでいます。

また、企業での障害のある人の雇用を促進するための取り組み、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供し、必要な支援を行う就労継続支援事業所等の充実などにも取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市では、障害者の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと感じますか。(〇は1つだけ)



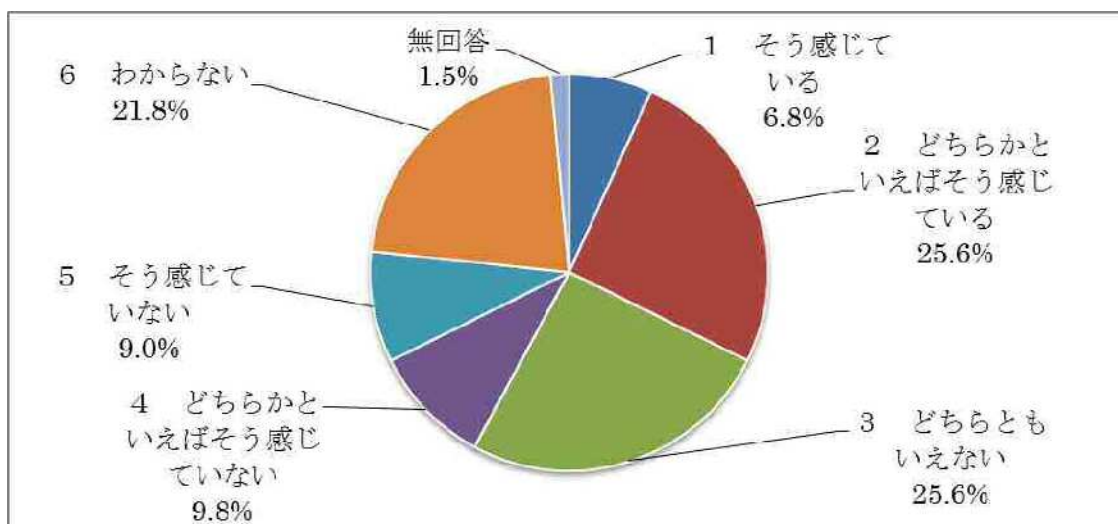
		回答者数	1 そう感じている	2 どちらかといえばそう感じている	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう感じていない	5 そう感じていない	6 わからない	無回答
全体		133 人	7.5%	24.1%	33.8%	8.3%	3.8%	21.1%	1.5%
性別	男性	46 人	4.3%	23.9%	30.4%	10.9%	10.9%	17.4%	2.2%
	女性	87 人	9.2%	24.1%	35.6%	6.9%	0.0%	23.0%	1.1%
年齢別	20 歳代	14 人	0.0%	14.3%	14.3%	21.4%	0.0%	50.0%	0.0%
	30 歳代	19 人	10.5%	15.8%	42.1%	5.3%	5.3%	21.1%	0.0%
	40 歳代	24 人	16.7%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	50 歳代	20 人	10.0%	20.0%	35.0%	10.0%	15.0%	10.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	3.4%	41.4%	24.1%	6.9%	0.0%	20.7%	3.4%
	70 歳以上	27 人	3.7%	18.5%	48.1%	3.7%	3.7%	18.5%	3.7%
区別	門司区	16 人	6.3%	18.8%	31.3%	0.0%	6.3%	31.3%	6.3%
	小倉北区	23 人	13.0%	21.7%	34.8%	13.0%	0.0%	17.4%	0.0%
	小倉南区	28 人	7.1%	21.4%	32.1%	17.9%	0.0%	21.4%	0.0%
	若松区	14 人	7.1%	14.3%	35.7%	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%
	八幡東区	11 人	9.1%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%
	八幡西区	32 人	3.1%	34.4%	31.3%	3.1%	3.1%	21.9%	3.1%
	戸畑区	9 人	11.1%	22.2%	44.4%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%

障害者の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと感じるかについて、「そう感じている」(7.5%)、「どちらかといえばそう感じている」(24.1%)を合わせて、31.6%であったのに対し、「どちらかといえばそう感じていない」(8.3%)、「そう感じていない」(3.8%)を合わせた12.1%を上回っている。

【障害者就労施設等の物品等に対する需要の増進等】

問9 北九州市では、障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るとともに、北九州市内の障害福祉サービス事業所等で作っている商品等の質の向上や魅力ある商品の開発、販路の開拓・拡大等を図る「北九州NUKUMORI（ぬくもり）プロジェクト推進事業」に取り組んでいます。障害者自立支援ショップ「一丁目の元気」（小倉北区京町）では、障害福祉サービス事業所等の協働による「北九州ぬくもりブランド」商品の販売も行われています。そこでおたずねします。

あなたは、北九州市では障害者就労施設等の物品等に対する需要を拡大するための取り組みが進んできたと感じますか（○は1つだけ）



		回答者数	1 そう感じている	2 どちらかといえばそう感じている	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう感じていない	5 そう感じていない	6 わからない	無回答
全体		133 人	6.8%	25.6%	25.6%	9.8%	9.0%	21.8%	1.5%
性別	男性	46 人	4.3%	26.1%	28.3%	8.7%	10.9%	21.7%	0.0%
	女性	87 人	8.0%	25.3%	24.1%	10.3%	8.0%	21.8%	2.3%
年齢別	20 歳代	14 人	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	35.7%	0.0%
	30 歳代	19 人	10.5%	10.5%	31.6%	5.3%	10.5%	26.3%	5.3%
	40 歳代	24 人	12.5%	16.7%	29.2%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%
	50 歳代	20 人	5.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	15.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	6.9%	34.5%	24.1%	10.3%	3.4%	17.2%	3.4%
区別	70 歳以上	27 人	0.0%	40.7%	25.9%	3.7%	3.7%	25.9%	0.0%
	門司区	16 人	6.3%	12.5%	25.0%	6.3%	18.8%	25.0%	6.3%
	小倉北区	23 人	8.7%	21.7%	21.7%	8.7%	17.4%	17.4%	4.3%
	小倉南区	28 人	7.1%	28.6%	21.4%	25.0%	3.6%	14.3%	0.0%
	若松区	14 人	7.1%	14.3%	28.6%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%
	八幡東区	11 人	9.1%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%
区別	八幡西区	32 人	3.1%	31.3%	34.4%	3.1%	6.3%	21.9%	0.0%
	戸畑区	9 人	11.1%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%

北九州市では、障害者就労施設等の物品等に対する需要を拡大するための取り組みが進んできたと感じるかについては、「そう感じている」(6.8%)、「どちらかといえばそう感じている」(25.6%)を合わせた32.4%が肯定的な回答で、「どちらかといえばそう感じない」(9.8%)、「そう感じていない」(9.0%)を合わせた18.8%が否定的な回答であり、肯定的な回答が否定的な回答を約14ポイント上回っている。

【発達障害のある人に対する支援】

問10 北九州市では、発達障害（※）のある人がライフステージに応じた一貫した支援が受けられるよう、子育て（保育所、幼稚園等）、教育（小中学校、特別支援学校）、福祉（基幹相談支援センター、区役所、子ども総合センター）、医療（総合療育センター、各医療機関）等の関係部署が一体となって取り組んでいます。

また、個別の相談などの支援活動は、北九州市発達障害者支援センター「つばさ」を中心に行うと共に、講演会やパンフレットの配布などにより、発達障害の特性や支援の状況等について紹介するなど発達障害の理解の促進を図っています。

※「発達障害」について

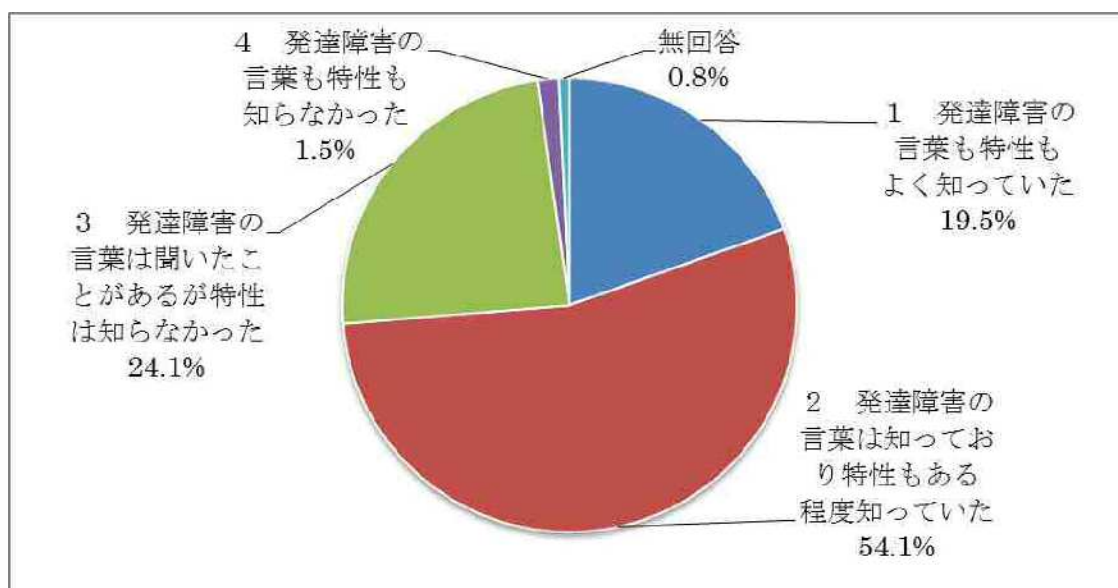
発達障害は、親の育て方や本人の性格によるものではなく、脳の機能障害によってもたらされるもので、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）などがあります。

その特性は障害によって様々ですが、例えば、突然予定が変わるとパニックを起こす、こだわりが極端に強い、人とのコミュニケーションがうまく取れない、曖昧な表現を理解することが苦手、などが見受けられます。

本人にあった適切な関わりや環境調整があれば、社会の中で豊かな才能を発揮することができます。

そこで、おたずねします。

あなたは、発達障害についてご存知でしたか（〇は1つだけ）



		回答者数	1 発達障害の言葉も特性もよく知っていた	2 発達障害の言葉は知っており特性もある程度知っていた	3 発達障害の言葉は聞いたことがあるが特性は知らなかった	4 発達障害の言葉も特性も知らなかった	無回答
全体		133 人	19.5%	54.1%	24.1%	1.5%	0.8%
性別	男性	46 人	15.2%	47.8%	34.8%	2.2%	0.0%
	女性	87 人	21.8%	57.5%	18.4%	1.1%	1.1%
年齢別	20 歳代	14 人	28.6%	50.0%	14.3%	7.1%	0.0%
	30 歳代	19 人	42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	0.0%
	40 歳代	24 人	16.7%	62.5%	20.8%	0.0%	0.0%
	50 歳代	20 人	20.0%	45.0%	35.0%	0.0%	0.0%
	60 歳代	29 人	13.8%	55.2%	27.6%	0.0%	3.4%
	70 歳以上	27 人	7.4%	63.0%	25.9%	3.7%	0.0%
区別	門司区	16 人	18.8%	56.3%	18.8%	6.3%	0.0%
	小倉北区	23 人	13.0%	56.5%	26.1%	0.0%	4.3%
	小倉南区	28 人	21.4%	53.6%	25.0%	0.0%	0.0%
	若松区	14 人	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11 人	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32 人	18.8%	53.1%	28.1%	0.0%	0.0%
	戸畑区	9 人	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%

発達障害について知っているかについては、「発達障害の言葉も特性もよく知っていた」(19.5%)、「発達障害の言葉は知っており特性もある程度知っていた」(54.1%)を合わせた73.6%の方が、発達障害について知っているとの回答で、「発達障害の言葉も特性も知らなかった」(1.5%)との回答を70ポイント以上、上回った。